

第1回 五島市ごみ処理施設整備基本計画検討委員会 会議録 要旨

I 日 時 平成27年10月20日(火) 13:30~15:30

II 場 所 五島市役所 3階 第2委員会室

III 次 第

- 1 開会
- 2 委員紹介 【資料1】
- 3 委員会設置要綱の確認 【資料2】
- 4 委員長及び副委員長の選出
- 5 審議
 - (1) 検討委員会の運営に関する申し合わせ事項 【資料3】
 - (2) 計画の背景とこれまでの検討経過 【資料4】
 - (3) 本委員会での検討内容とスケジュール 【資料5】
 - (4) 基本条件の設定について 【資料6】
 - (5) 事業方式の基本条件の設定について 【資料7】
 - (6) メーカー調査内容について 【資料8】
- 6 その他

IV 出席者(以下、出席者名簿)

(敬称略)

	氏 名	所属・役職
委員長	中村 國夫	生活環境課長
副委員長	朝倉 宏	長崎大学准教授水産・環境科学総合研究科
委員	東條 一行	総務課長
	出口 秀幸	財政課長
	針崎 善英	建設課長

V 欠席者

なし

VI 事務局出席者

五島市生活環境課 太田課長補佐、吉原係長
株式会社エイト日本技術開発 森、江藤

VII 議事録(要旨)

事務局：委嘱式
<開会>

＜委員紹介＞

＜配布資料確認＞

1. 委員長及び副委員長の選出

- ・委員の互選により委員長を選出した。また同様に副委員長を指名した。

2. 基本計画検討委員会設置要綱の確認

- ・委員会での所掌事項の確認を行った。

3. 審議

(1) 申し合わせ事項の確認

- ・申し合わせ事項の内容を確認した。

(2) 計画の背景とこれまでの検討経過

- ・計画の背景とこれまでの検討経過について確認した。
- ・スケジュールを守るためには生活環境影響調査の進行が重要となることを報告した。併せて地元交渉が重要であることを確認した。
- ・基本計画にて決定している施設規模 41t/日（20.5t/16h×2 炉）の積算根拠等について確認した。併せて、ストーカ方式を選定した経緯を確認した。
- ・焼却方式を採用した理由等を明記することとの意見が出た。

(3) 検討内容とスケジュール

- ・検討内容とスケジュールについて確認した。

(4) 基本条件について

- ・焼却施設の建設の際に必要な諸条件である「基本条件の設定」について確認した。
- ・すでにストーカ方式に決定しているのであれば、その根拠及び比較表、実績表等を記載すべきとの意見が出された。
- ・ストーカ方式が安全であると確認出来る実績資料等を添付するよう意見が出された。
- ・ストーカ方式は、揺動式ストーカと堅型火格子式があることを確認した。
- ・排ガス基準等の規制値は、現福江清掃センターと同様に、法規制値よりも厳しい自主規制値としていることを確認した。

(5) 事業方式の基本条件の設定について

- ・事業方式の基本条件の設定について確認した。
- ・比較検討する事業方式として、公設公営方式と公設民営方式（DBO）を選択し、調査検討を行うことを確認した。
- ・プラントメーカー調査を実施する上での条件設定について確認した。

(6) その他

- ・第2回委員会は12月17日（木）13時30分から開催とする。